

拝島高校の就職指導【人材育成5つのシステム】

1. 教育の理念と体制

本校の進路指導の目標は生徒の将来が「社会を支える責任ある市民として幸せな一生を送ることができるよう」です。そのために普通科高校でありながら全ての生徒に就職に備えた指導をしています。働くことを「社会の役に立ちながら収入を得て、自己の生きがいをつくること」と位置づけ、働く意欲と覚悟を持たせます。社会人基礎力の根幹である「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を鍛える指導を授業だけでなく学校生活の全ての場で実践しています。

2. 本校が応募者に求める生徒像

本校は中学生に対して「期待する生徒像」を次のように示し、学力だけでなく人間力にも注目して社会が求める人材につながる生徒を募集しています。

- ①中学校3年間を通じて欠席・遅刻・早退が少なく、授業態度が良好な者
- ②高校に進んでからも、校則を順守し授業にまじめに取り組み、学力の向上を目指せる者

3. 生徒選抜の観点

本校の入試では「規範意識と生活態度」「コミュニケーション能力」「進路実現に向けた意欲」「思考力・判断力・表現力」等を評価し、多面的な能力を測ります。中学校時代の授業や学校行事に取り組んだ態度や意欲を通じて本校の教育指導への適性と成長力を重視しています。

4. 教育方針(授業の内容)

勉強したい、できるようになりたい、という中学生の気持ちに答え、基礎からの反復学習による「学び直し」で知識・技能の定着を図り、アクティブラーニングを取り入れた指導で学力の向上を目指します。普通科高校の教育課程は専門科高校のような工業・商業等の専門科目は履修しませんが入社後の研修・教育に対応できるように基礎基本を重視し、社会人基礎力を養う授業を各教科で実践しています。

5. 厳格な生活指導が定着

生徒指導は、働く人としての基本的姿勢を培うために厳格に行います。

- ①服装・頭髪指導→整った清潔な服装・頭髪は社会人としてお客様へのおもてなし、安全な作業への第一歩と教え、身だしなみを整えることを習慣化する指導をしています。
- ②授業規律の徹底→チャイム前に着席し、チャイムと同時に授業を開始する「チャイム始業」を基本に時間管理を指導しています。50分間の授業に取り組ませることで仕事に必要な集中力や忍耐力を養います。
- ③協調性を養う学校行事→行事は仲間との団結、協力を主眼に実施し、協調性を養います。協働して制作に当たる「巨大貼り絵」は指導の象徴です。
- ④挨拶と返事の励行→「挨拶と返事は社会人、組織人の基本」と教え、相手に気持ちの伝わる挨拶と明瞭で元気な返事を指導しています。
- ⑤整理整頓、清掃の徹底→職場環境や品質の維持の基本となる、働く者の資質を養います。